

水島中だより

倉敷市立水島中学校

第1号

令和6年1月9日発行

新年あけましておめでとうございます。12月22日付で、校長として着任しました赤澤信治と申します。これからどうぞよろしく願いいたします。私は、水島中学校で教諭として8年間お世話になり、その後、4年9ヶ月間は連島南中学校で教頭として勤務し、この度帰ってまいりました。

「教諭時代から何か変わったか」と言われれば、あまり変わったとは思えない自分が、果たして水島中学校を引っ張っていく立場としてふさわしいのか、と自問自答しましたが、それでも、任を受けた以上、やるしかない、やらなければいけないと覚悟を決めてまいりました。水島中学校での8年間を振り返ってみると、たくさんことができました。嬉しかったこと、楽しかったこと、苦勞したこと。その一つ一つ、全ての経験が自分を成長させてくれたと感謝しています。一度在籍した水島中学校。深い思い出があり、誇りに思う学校です。その学校に、またこうして関わるができることに嬉しさと大きなやりがいを感じています。ただ、校長としては初心者マークでスタートしたばかりです。至らないところも多々あるかと思いますが、その点につきましては、皆様方にご指摘をいただいたり、助けていただきながら成長していきたいと思っております。微力ではございますが、水島中学校の生徒や地域の方々に愛される学校を目指して、積小為大※（せきしょういだい）の精神で頑張る所存です。どうぞよろしく願いいたします。

※積小為大…二宮尊徳（二宮金次郎）の言葉。「毎日毎日の小さな努力の積み重ねが大きな成果につながる」という意味。それにより、私自身が心がけようと思っていること。①小さなことをおろそかにしてはいけない。②継続は力であること③何ごとも焦りは禁物であること。

「和」についてのコーナー

私は、終業式（12月22日）の校長の話で、（1・2学期のことは全く分かりませんし、生徒たちにもそこで初めて会いましたので、）水島中学校で感じていたことを述べさせていただきました。話したことは3つです。1.「私はこれを頑張るために変わるんだ」という話、2.「和」についての話、3.水島中学校の校歌の思い出の話です。生徒たちはしっかりと私の方を見て聞いてくれました。本当に嬉しかったし、気持ちが温くなりました。その中で、2の「和」については、この学校だよりの最後のところで一つのコーナーとして毎回触れていきたいと思っています。

和

協和…互いに心を合わせて仲良くすること